

黄色い旗、揚がっていますか!!

「愛の見守り活動」は自治会内の



向こう三軒両隣の見守り活動

この活動は岩手地区を、より安全で安心な地域とするため「まちづくり」の一環として展開しています。

「黄色い旗」の掲揚は、高齢者や高齢単身者、身体の不自由な方などが、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指し、見守り活動を通じて、異常のあった家庭を早期に発見し、必要な支援につなげることを目的とします。

自治会のすべての世帯が、毎日、朝起きたら玄関や窓、庭先など、近所の方が確認できる場所に、黄色い旗を掲げ、夕方には片づけることを基本とします。

すべての世帯が掲げる目的は、特定の世帯（高齢者だけの世帯や高齢単身者、身体弱者）のみが掲げていることが判ると、盗難や犯罪に利用される恐れがあるため、これを防止するためであり、決して強制するものではなく、自発的に掲げていただくことをお願いするものです。

皆で見守りましょう



- 隣近所の皆さんがそれぞれ見守ることとします。
- 黄色い旗が出ていないまたは片づけていない時は、声をかけてみましょう。
- 異常が発生した場合には、必ず大きな声で、ご近所に知らせ、複数の住民で対処（救急車の手配など）してください。
- 二回の声掛けにも返事がないときは、自治会長、班長、福祉委員などに連絡をしてください。
- 旅行などで外出が続く場合は、ご近所に伝えましょう。

旗が破れた・汚れた場合は、地区センターへ